



おさしつかえなし ご注文なし

おたすけの月は まんまと その心に映ってくださいました

三河のおそさん

正月汁 2月 19日(日)は、正月汁。毎年旧正月と旧盆の



親鸞聖人のご命日に各組の方々が集い組の報恩講をつとめ



聖人を偲びお斎を食し、組同志の懇親をもつ場として営んできました。最近では 16 日前後に近い日曜日に、お講が持たれます。今年は、下組の方々が当番です。朝から皆さん集まって来られ、お斎の準備がされました。

11 時より本堂にて「正信偈・六首引き」のおつとめ、お話は「黑白二鼠の譬え」です。お釈迦さまが、快楽を求め、そこに埋没しながら生死の事をなおざりにしている「私」のすがたを譬えられたお話です。

『御文章』拝読、『恩徳讃』を唱和して、庫裡に移動し、お斎をいただきました。今では大勢で食事をと



る機会が少なくなってきたので、美味しさが増しますね。お腹がいっぱいになりました。続いてティータイムをもち、春の歌をたくさん歌いました。ホットなお講のひとときをもたせていただきました。 南無



恒例の 2 月 13 日は名古屋別院報恩講仏教婦人会参拝研修でした。鈴鹿組からバスで参拝、存仁寺からは 11 名が参拝いたしました。雅楽の流れる中、法要が厳修されました。

「正信偈」のおつとめの中、焼香をしました。ご講師の福岡教区松月博宣さんより「ご開山ご出世のご恩」と題してご法話をご聴聞させていただきました。浄土の真実が私をつんでくださっています。



2 月 25 日東海教区仏教青年連盟研修会が、湯の山ホテルウェルネス鈴鹿路で開催。存仁寺から 4 名が参加しました。広島の高橋哲了さんより

「念佛者の生き方」の講義を受けました。



2 月 22 日学校を終えて夕方お寺に集合しました。4 年生の夢菜さんの調声で「らいはいのうた」のおつとめ、若院お話、鐘を撞きました。



4 月 1 日常信寺さんで開催の鈴鹿組はなまつりのポスターと消しゴムハンコ作りをしました。そして、今日の夕食は「リゾット」と「ポトフ」、またたく間に完食。片づけ、カードゲームをして楽しみました。子どもたちは土日も様々な行事がある中、平日のひと時をお寺で過ごす時間を持つていただきました。



無量寿会例会 2月の例会は、岡田さん調声による「正信偈」のおつとめの後、井関会長のご挨拶、住職より「私は浄土真宗—人生の節目・結婚式—」のテーマでのお話し、結婚の往時を思い出しながら、出会いなどを話してくださる方もありました。



「娘たちよ」の仏教讃歌をうたい、ゆっくりと歓談しながらティータイム。その後は若々しく、イキイキ体操をしました。

今月3月15日(木)は追悼法要をおつとめいたします。

北海道大島義勝さん

今年は異常気象にて、処に依っては大雪の被災に遭われ、その被害が連日、テレビにて見る度に心が痛みます。北国に住む私達には、大雪は日常の事で有り、その対応には慣れてますが、不慣れな地域の方々の事を考えると他人事とは思えません。ところで、先月末にPCに有ったデーターがすべて消失しました。どこを誤操作したのかと考えても解らず、専門店(PC専門店)に聞いても原因が判らず、結局はデーターを一から作り直すしかない。データーで一番大切にしていたのが、アルバムを写真に撮り、PCに残すことでしたので、まずはそれから始めました。何冊も有るアルバムを観て、あ……この時に、もつと親孝行をしていましたならなとの思いが大きくなります。でも、やり直しは出来ないなうとアルバムの写真を撮るだけです。

「あの時、父に母に尽くしただろうかと悔やむ前に戻れるのなら、絶対に親孝行をする

今は、父母・叔父叔母は皆居ない

「親孝行をしたい時には親は無し」

「やり直しのきかぬ人生であるが、見直すことは出来る」

「突然にパソコンのデーターが全て消失したその原因が判らない、何処を誤操作したか修正の仕様が無い一大事だ、専門店もダメ原因が判らなく処置の仕様が無い。」



「あづまの恋」

おりおりに

たずねる駅の川越は

しだいに

姿かわりてゆけり

冬さりて

春きたりなん

湖に 小舟ゆきかふ

竹生島あたり

「思ひ草」



白桜の

甘き樹液は旅人を

いやしてしたり

北国の春

東京 小笠原孝枝さん



春、いのちが咲いてくる陽気、悲しみの時の流れるを感じる空氣、時はめぐりまた春が来てあの日と同じ流れの岸、七年の月日です。なもあみだぶ、なもあみだぶ。どうかくれぐれも、おだいじにて、

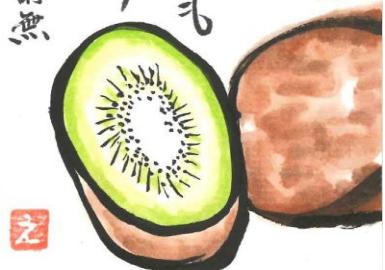
弘至の句
今朝咲き（梅一輪の匂）未し
九十路や（身）夢室や雛飾る
立つ表や（消）ごみの角（あくび）引る
落橋エのめくみく姿（うらぎ）ぬ
病（ぬ）友に言葉選びて春者
玉砂利に待春の音刻みけり
又一テ老舗（いせ）（着）移がゆ
落食（おとく）彦代子

人生は長（ただけ）じやない
幅（ひろ）もあれば、深（ふか）もある
いつか別れねば
今（いま）し出遇（でめぐ）りそいに
この出遇（でめぐ）りを大切（たから）に
したいものである
金子大栄

落食彦代子

弘至の句

今朝咲き（梅一輪の匂）未し
九十路や（身）夢室や雛飾る
立つ表や（消）ごみの角（あくび）引る
落橋エのめくみく姿（うらぎ）ぬ
病（ぬ）友に言葉選びて春者
玉砂利に待春の音刻みけり
又一テ老舗（いせ）（着）移がゆ
落食（おとく）彦代子



札幌市大島光子さん

朝倉市 森田瑛子さん